

新刊紹介



橋の改修・改良図鑑

編集：日経コンストラクション
 発行：日経BP社
 発売：日経BPマーケティング
 仕様：A5版・226ページ
 定価：3,500円(税別)

わが国の経済や物流などを支える社会基盤となる土木構造物のうち、その物量が非常に多いのが「橋」である。

笹子トンネル天井板落下事故を受けて施行された道路橋の点検義務化に伴って、その維持管理サイクルが本格的に回り始めつつある。点検の結果、劣化が進み、安全性に課題がある橋においては、改修や改良が求められることになる。

実際に既存橋の改修や改良を検討する場合には、その施設ごとにきめ細やかな検討が必要になる。施設を使いながら施工しなければならないという条件や、既存施設と同等の機能を持つ仮設構造物を構築しなければならないという条件などを考慮する必要がある。制約が非常に多い状況下で、迅速に事業を進めていくことも求められる。

一方、今後は維持補修への予算措置

が大きくなる見通しであるとはいえ、老朽化の進展に伴って対応しなければならない構造物も増えてくる。コスト面でも相当な工夫が求められてくるはずである。本書で示した特徴ある取組みには、そういった厳しい条件下での橋の改修や改良を検討・実施する際のヒントが散りばめられている。

このように本書では、その物量が非常に多い「橋」に焦点をあて、近年の橋の補修や改良事業のなかから、今後の補修や改良の計画・施工などを進めていくうえで参考となりそうな先進的な事例を集め、その内容を図や写真をもとに分かりやすく解説している。

今後の橋の補修や改修を計画・設計・施工する際の検討時に、役立つよう工夫された編集になっており、これから橋の維持管理、設計、施工に携わる技術者にとって必携の一冊であろう。